

新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止対策

◆全会場共通◆

- ・入場の際は、必ず検温と手指消毒を行う
- ・入場者全員（団員、指導者、役員、保護者）は、各自「体調管理チェックシート」を提出し入場する
- ・当日会場での発熱が認められた場合は、参加（入場）しない
- ・会場へ入場される全ての方は、試合または練習中の選手を除き、参加受付時や試合待機時等に会場内では、口と鼻をしっかりと覆うマスクを着用する
- ・観客席では密にならないよう間隔をあけて着席する
- ・開会式、閉会式では、整列時、待機時共に間隔を取って整列、着席する
- ・飲食時は会話をしない

◆軟式野球◆

- ・全選手が密集・密接する円陣や声出し、整列などは行わない。
- ・競技中のマスクの着用については、選手、審判員の判断とするが、ベンチ内に居る時は、全員がマスクを着用する、ただし、熱中症予防に配慮する
- ・肌が触れ合うハイタッチなどは行わず、各々コミュニケーション方法を模索する
- ・応援者については、観客が「密」にならないように、一定の距離を保って観戦する
- ・大声での応援は行わない
- ・試合間のインターバルを通常より長く設定し、選手ならびに関係者の密集のリスクを回避する工夫をする
- ・選手やチームを集めるなど、密集することがないように配慮する
- ・試合前の整列は、監督またはキャプテン同士の挨拶とし、両チームが整列は行わない

◆ミニバスケットボール◆

- ・出場選手は、クォーター毎に手指の消毒を行ってからコートに入る
- ・試合球は複数個用意し、クォーター毎に消毒を行い交換しながら使用する
- ・試合前、試合後に相手チーム、審判との握手は実施しない
- ・両チームベンチへの挨拶、円陣、手をつなぐ、ハイタッチ、抱擁などは実施しない
- ・タオル、ボトル等を共有しない
- ・コート上でチームメイト、審判と会話する際にもお互いの距離について配慮する
- ・ベンチではマスクを着用し、距離を保ち会話を控える
- ・試合終了毎にベンチの消毒を行う
- ・選手ならびに関係者の密集のリスクを回避する工夫をする

◆バレーボール◆

- ・試合毎、セット毎に換気を行う
- ・試合球はできるだけ複数個用意し、こまめに消毒・清掃を行って交換しながら使用する
- ・審判員の笛は電子ホイッスル等を極力活用する
- ・コイントス、試合前、試合後の握手は「一礼」としこれで代える形とする
- ・試合前などの円陣、ベンチでの集合時においてもできるだけ密集・接触を避ける
- ・競技中、靴底を手で触らない
- ・ネット際などで、相手に向いた状態での発声は控える
- ・ハイタッチ、抱擁を行わない
- ・タオル、ボトル、アイシングバックなどの共有は行わない
- ・ベンチでは離れて座る
- ・ウォーミングアップエリアでも密に気をつけて私語を慎む

◆サッカー◆

- ・試合前、試合後に相手チーム、審判団との握手は実施しない
- ・両チームベンチへの挨拶及び円陣は実施しない・
- ・倒れた選手に手を貸さない
- ・ハイタッチ、抱擁を行わない
- ・ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐く、手鼻をかむ、口に含んだ水を吐くなどの行為を行わない・
- ・タオル、ボトルを共有しない
- ・ピッチ上でチームメイト、審判団と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する

- ・ベンチではマスクを着用し、会話を控える

◆卓球◆

- ・試合前には石鹸で手洗いをするか、手指消毒を必ず行う
- ・消毒液は体育館入口、本部席、コート責任者のところに設置する（各団でも用意する）
- ・試合前のラケット交換の際は、相手選手のラケットを触らず、ラケット・ラバーを互いに見せ合う
- ・試合前後の握手はせず、礼のみとする
- ・試合中、ルールで定められたチェンジエンドは行う
- ・試合中、得点を挙げたときなど大声を出さない
- ・使用するタオルは各自でタオルボックスを持参するか、個人で管理する(共有はしない)
- ・卓球台で手をふく行為は禁止する
- ・審判に入る人はマスクを着用し、事前に石鹸で手洗いをするか、手指消毒を行う
- ・コートが汗などでぬれた場合は、自分のタオルや手で拭かず、雑巾（本部に用意）で拭く
- ・応援は大声を出さず、拍手で行う

◆バドミントン◆

- ・遮光性に配慮の上、可能な限り窓や扉を開放して行う
- ・換気のタイミングや換気時間等を決め、事前に周知する
- ・コートサイドには選手が使用するカゴやドリンクケースを設置せず、各自バッグを持参させ、飲み物も各自バッグに収容させる
- ・コーチ席は1席、または設置しない
- ・コートのモップ掛けは、ゲーム毎と試合終了後に行う
- ・毎試合終了後、審判台・サービスジャッジ席・線審席・コーチ席・サービス測定器・得点板等を消毒する
- ・応援は、声を出さず拍手などで行う
- ・ラケット・タオル等の用具の貸借はしない
- ・床の汗拭きはモップもしくは所定の用具を使用する
- ・汗をコート内やコートサイドに投げない
- ・シューズの裏を手で拭かない

◆剣道◆

- ・試合を行っている選手とその選手の引率者以外は指定する待機室する
- ・試合が終了した選手およびその選手の引率者は退室して待機室に移動する
- ・入場の際は都度、手指の消毒を行う
- ・試合に参加する選手は、マスク、マウスシールドまたは面シールドを必ず着用する
- ・試合中のつばぜり合いはなるべく行わず、つばぜり合いになりそうな場合にはお互いに下がって間合いをとるようにする、つばぜり合いになった場合、主審は直ちに「止め」の宣告し開始線に戻してから再開する
- ・応援については拍手のみとし、大声による応援はしない
- ・防具や竹刀の貸し借りは禁止とし、竹刀の破損により替えの竹刀が無い場合は、反則負けとする
- ・試合場内での水分補給は認めるが、その他の飲食は禁止とする、また、出たゴミは必ず各自が持ち帰る

◆空手道◆

- ・すべての来場者（選手・引率者・役員・審判員・係員）はマスク着用する
- ・選手については競技中のみ外すことを許可する
- ・組手競技はメンホー用マウスシールドを使用又は外側に透明テープで口元を塞ぐ
- ・応援は拍手のみとし大声での声援は送らない
- ・安全具、赤青帯などは、各自が持参して貸し借りはしない
- ・参加者は各道場又は団体において必ず保健に加入すること
- ・出場選手は大会前に各自の責任において健康診断を受け医師の許可を得ること。

◆少林寺拳法◆

- ・参加者、実行委員、保護者等全ての来場者は、常にマスクを着用する
- ・競技中もマスクを着用したまま行い、気合は発声しない
- ・各参加者は自分が出場する直前・直後に手指を入念に消毒する
- ・会場各所にサーキュレーターを設置し、常に循環・換気を行う
- ・応援は声を出さず、拍手のみで行う